

## 海外安全対策情報（平成28年度第3四半期：コロンビア）

### 1 社会・治安情勢

#### (1) コロンビア政府による2016年中の犯罪統計の発表

国防省の犯罪統計が発表された。コロンビア国内における2016年の主要な犯罪統計は以下のとおり。

|                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ○ 殺人             | 12,262件（対前年比－520件） |
| ○ 強窃盗（対人被害）      | 109,763件（同＋8,422件） |
| ○ 強窃盗（邸宅，商業施設被害） | 41,630件（同－1,960件）  |
| ○ 強窃盗（乗物盗）       | 37,064件（同＋2,059件）  |
| ○ 性犯罪            | 11,096件（同－10,501件） |
| ○ テロ             | 215件（同－228件）       |
| ○ 誘拐             | 205件（同－8件）         |
| ○ 恐喝             | 4,539件（同－941件）     |

殺人，テロ，誘拐件数は減少，特にテロ発生件数は半数以下となったものの，強窃盗（対人被害）は増加（6年連続）となった。

#### (2) 政府とFARC（コロンビア革命軍）の和平交渉を巡る動き

10月2日，FARCとの和平合意に関する国民投票が実施され，和平合意が僅差で否決された。その後，サントス大統領はウリベ派を含む各政党や諸団体との対話を行い，11月12日，キューバにおいてコロンビア政府及びFARCは，新たな和平合意に合意したことを発表した。11月24日，ボゴタ市内コロソ劇場において，新和平合意署名式が実施され，サントス大統領とロンドーニョFARC最高司令官が新和平合意に署名した。新和平合意達成後，和平合意事項実施のための関連法案の審議が順次行われており，12月28日，臨時国会において，最初の和平合意実施関連法案となる恩赦法案が可決された。政治犯罪とされる，反乱，騒乱，暴動等で比較的程度の軽い罪を犯したFARC構成員・軍人・警察官への刑罰を停止するもの。

#### (3) FARCによる幹部5人の除名

FARCは12月14日，政治方針が異なるとして幹部5人を除名したと発表した。除名されたのはいずれもグアビアレ県，ビチャダ県，メタ県及びカケタ県で活動する東方師団の幹部であり，（政府との和平方針に反対する）第一戦線司令官等が含まれる。これら地域における武装解除への弊害や新たな違法武装勢力の形成などが懸念されている。

#### (4) ボゴタ市内における警察官を狙った攻撃

12月28日午後9頃，ボゴタ市北部（Carrera7，Calle200）にあるトルカ変電所及びその付近の湿地を警戒していた警察官を何者かが射殺。さらに同警察官の遺体に遠隔起爆装置付きの爆弾を仕掛け，遺体に近付いた警察官5名を負傷させた。犯行主体はELNであるとの見方がなされている。

## 2 一般犯罪の傾向

### (1) 犯罪別発生件数

第3四半期（10月～12月）のコロンビア全国における罪種別犯罪発生件数は以下のとおり（出典：コロンビア国防省統計）。

|                 |          |
|-----------------|----------|
| ・殺人             | 3, 006件  |
| ・強窃盗（対人被害）      | 26, 395件 |
| ・強窃盗（邸宅，商業施設被害） | 8, 874件  |
| ・強窃盗（乗物被害）      | 8, 880件  |
| ・性犯罪            | 1, 912件  |

### (2) 邦人被害事案

- 10月11日，短期旅行者がメデジン市内のメトロに乗車中，ハンドバックから財布等をすられる窃盗被害にあった。
- 11月3日，短期旅行者がボゴタ市西部シウダーサリトレ地区において，突然3人組の少年に背後から襲われ押さえつけられ，所持していたスマートフォン及びポケットにしまっていた現金等を強奪された。
- 11月10日，短期旅行者がアトランティコ県バランキージャ市のショッピングモールを友人と友人所有の車両で訪問，買い物中に車両の窓ガラスが割られ車内から邦人所有のバックパックが窃取された。
- 11月19日，短期旅行者がメデジン市内で強盗に遭い，犯人から被害品を取り返そうとしたところ，射殺された。
- 11月26日から27日にかけて，短期旅行者がメデジン市からボゴタ市までの夜行バス内において仮眠中，足下に置いていたリュックサック内から現金及び旅券を窃取された。

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

### (1) 発生件数（10月～12月）（出典：コロンビア国防省統計）

28件

### (2) 発生事案

国内において，以下のテロ・爆弾事案が発生した。

- 10月12日，クンディナマルカ県ガマ市及びガチャラ市において，送電塔4基が爆弾によって破壊された。犯行主体についてELNとの見方がある。
- 10月20日，アラウカ県フォルトゥル市とサラベナ県を結ぶ道路において，ELNによるとみられる海軍への襲撃事件が発生，兵士2人が負傷した。
- 10月24日，アラウカ県アラウキータ市において，ELNによって，パイプライン爆破された。

- 10月26日、ボゴタ市北部において、何者かが設置した爆発物が発見され警察により無力化された。
- 10月28日、アラウカ県フォルトゥル市において、ELNが通行中の車両を停車させ、放火した。
- 10月31日、ナリーニョ県アカリ市において、兵士が狙撃され殺害された。ELNが犯行声明を発出した。
- 11月14日、ナリーニョ県において、ELNによるとみられるパイプラインへの攻撃が発生した。
- 11月16日、ノルテ・デ・サントアンデール県ククタ市において、警戒中の警察機動隊の車両を狙う目的で設置されたとみられる爆発物が爆発し、警察官17人や市民2人が耳の痛みを訴えるなどし、病院に搬送された。
- 12月1日、チョコ県において、風船に仕掛けられた爆弾が爆発し、少女1名が死亡、その母親が負傷した。ELNの犯行との見方があるが、ELNは犯行を否定している。
- 12月1日、ノルテ・デ・サントアンデール県カタトゥンボ地区で警察官が狙撃され1名が死亡した。
- 12月1日、ボヤカ県クバラ市において、パイプラインが爆破された。
- 12月5日、ノルテ・デ・サントアンデール県ククタ市内において、ELNが違法検問を行い、市民1名を殺害した。
- 12月13日、ナリーニョ県トゥマコ市のバーで爆発物が爆発し1名が死亡、17名が負傷した。
- 12月14日、アラウカ県サラベナ市において、ELNによるとみられる警察官に対する攻撃により、警察官1名が負傷した。
- 12月18日、アラウカ県サラベナ市において、情報部門に所属する警察官2名がバイクに乗車する何者かによって襲撃を受け負傷した。
- 12月28日、ボゴタ市北部（Carrera 7, Calle 200）にあるトルカ変電所及びその付近の湿地を警戒していた警察官を何者かが射殺。さらに同警察官の遺体に遠隔起爆装置付きの爆弾（アナモール500gに鉄片を混ぜたもの）を仕掛け、遺体に近付いた警察官5名を負傷させた。犯行主体はELNであるとの見方がなされている。

#### 4 誘拐・恐喝事件発生状況

(1) 発生件数（10月～12月）（出典：コロンビア国防省統計）

|      |      |
|------|------|
| ア 誘拐 | 39件  |
| イ 恐喝 | 511件 |

(2) 発生事案

11月8日、ビジェガス国防大臣が、チョコ県においてロシア人の誘拐被

害の可能性があるととして、捜査機関が捜査中であることを発表した。なお、2017年1月21日に、誘拐されていたロシア人が赤十字国際委員会を通じて解放された。

## 5 日本企業の安全に関する諸問題

政府の継続した治安対策により、ボゴタ市を始めとする都市部では、テロ、殺人及び誘拐の発生は減少し、都市部での治安状況は過去と比べ著しく改善された。

しかし、2015年12月以降もボゴタ市内で爆弾テロが複数件発生するなど、警戒を怠ることはできない状況。また、未だ山間部やジャングル地帯を中心に治安機関及び石油・電力施設を狙ったテロが頻発している。これら地域は、国軍・警察の影響力が低いため、人的・物的被害が絶えない。

1月24日、新和平合意が署名され、和平合意事項実施のための関連法案の審議が順次行われている。可決された恩赦法が適用されるのは2017年半ば以降となり、恩赦の対象となったとしても、社会復帰が出来ない元ゲリラ兵が一般犯罪に手を染めるなどの可能性もある。

従って、特に地方への訪問については、その可否を決定する上でも、外務省、大使館、現地治安当局より最新の治安情報を入手するよう努めていただきたい。